

1 年次 2 年次 3 年次 4 年次 5 年次 6 年次

医療系科目に加え、準備教育として高校との接続教育も用意
 薬学専門教育を中心に具体的な実験・分析手法も養成
 臨床系科目や衛生薬学系科目など専門性の高い講義と実習
 共用試験に向け附属病院での事前実習を通して実力を育む
 病院と薬局で実務実習を行い薬剤師としてのスキルを向上
 最先端の医療にふれ卒業研究に取り組み問題解決能力を体得

教養科目(準備教育) 卒業研究

基礎薬学(物理学・化学・生物学) 総合講義

衛生系薬学 総合演習

医療系薬学 アドバンス講義

実習・研修科目 医療系薬学 実務実習 実践チーム医療論(附属病院での医局実習)

物理・生物・化学実習 学生実習1 学生実習2 学生実習3 実務基礎実習 薬局実習(11週間) 病院実習(11週間)

早期体験学習 組織学・分析化学 物理化学・有機化学 症例解析学 実務基礎実習 薬局実習(11週間) 病院実習(11週間)

学生実習1 生化学・微生物学 天然物化学 フィジカル 実務基礎実習 薬局実習(11週間) 病院実習(11週間)

解剖見学実習 衛生化学・創剤学 薬理学・薬物代謝学 アセスメント 実務基礎実習 薬局実習(11週間) 病院実習(11週間)

早期臨床体験 看護体験実習 工場見学 工場見学 実務基礎実習 薬局実習(11週間) 病院実習(11週間)

工場見学 工場見学 工場見学 工場見学 実務基礎実習 薬局実習(11週間) 病院実習(11週間)

多職種連携のためのアカデミックリテラシー(4学部合同プログラム) チーム医療リテラシー(4学部合同プログラム) 4学部合同セミナー

少人数制クラスの導入 CBT・OSCE対策 解説講義型補講 直前型の実践メニュー

①1クラス約10名の少人数制を導入
 ②生活面や学習方法をきめ細かくフォローアップ
 ③教授から若手教員までが学生に対応する講座担任制

①演習形式の授業で、過去の出題を解く
 ②修得した知識と理論の総チェック
 ③知識・技能・態度などを客観的に把握
 ④実務実習へ臨むためのレベルをチェック

①5~7名の小グループ単位で実施
 ②学生自身による国家試験過去問題の解説を取り入れた講義形式

①国家試験対策ガイダンス
 ②学内演習試験
 ③予備校による夏期・秋期・直前期講習および全国模試
 ④国家試験形式による5回の総合試験
 ⑤学生一人ひとりに指導教員がつくチューター制

共用試験(CBT・OSCE)は、コンピュータを用いて、知識の総合的理解度を評価する客観試験CBT(Computer Based Testing)と態度・基礎的臨床技能を評価する客観的臨床能力試験OSCE(Objective Structured Clinical Examination)が行われます。

共用試験(CBT・OSCE)

薬剤師国家試験